

2013(平成25)年度 法学既修者入学試験問題(2月試験)

# 憲 法

(90分, 総点100点)

**試験開始の指示があるまで開かないこと**

## 注意

1. 問題冊子は, 表紙をふくめて4ページで, 問題は1問ある。
2. 解答用紙は1枚配布する。解答は解答用紙に記入し, 解答の末尾には, 「以上」と明記すること。また, 用紙が不足した場合には, 追加の用紙を配布するので, 挙手して監督者に知らせること。
3. 下書き用紙として, 白紙を1枚配布する。ただし, 下書き用紙の提出は認めないので, 必ず解答用紙に清書して提出すること。
4. 解答用紙への受験番号, 氏名記入は, 監督者の指示によること。また, 「管理番号」欄は, 大学側が使用するので受験生は記入しないこと。
5. 問題の内容に関する質問には, 応じない。
6. 試験時間内の退場はできない。なお, 試験中の発病等やむを得ない場合には, 挙手により監督者に知らせ, その指示に従うこと。
7. 試験終了後は, 監督者の指示があるまで, 各自の席で待機すること。
8. 問題冊子及び下書き用紙は, 各自で持ち帰ること。

## 問題

国家公務員法98条2項前段は一般職国家公務員の争議行為を禁止しており、同法110条1項17号は禁止された争議行為の「遂行を共謀し、そそのかし、若しくはあおり、又はこれらの行為を企てた者」への刑事罰を規定している。

これらの規定の合憲性について、論じなさい。

なお、国家公務員法98条、110条の条文は、試験の際に貸与される『ポケット六法』に収録されているので、それらを必ず参照しなさい。

以上

余白

余白